

広島市立広島特別支援学校 進路指導部 広報係

いよいよ冬休みになります。寒い寒い冬ですが、みんなで冬を乗り越えて暖かい春を待ちましよう！！くれぐれもお体に気をつけられて、希望いっぱいの新年をお迎えください。

## 中学部3年保護者対象進路研修会について



10月22日（水）に中学部3年保護者16名が参加し、進路研修会が開催されました。来年度、高等部に進学を予定している生徒の保護者が本校の進路指導の現状について理解し、今後の家庭での取り組みや生徒支援に資することを目的として高等部の浅枝進路指導主事を講師に迎え、主に「進路ガイダンス」について研修を深めました。当日は校内実習や職場実習の様子についてのビデオ資料も視聴しながら、その具体的な内容についてお話を伺うことができました。

子どもたちが今後、将来の社会参加と豊かな自立に向けて一層力をつけていけるようこれからも保護者の皆様や、地域、関係諸機関と深く連携しながらより充実した進路指導が展開できるようがんばっていかねばと実感いたしました。今後とも保護者の方々の協力が欠かせません。子どもたちの大きな未来に向かって共にがんばりましょう。

（中学部3年）

## 小・中学部保護者対象進路研修会(作業見学)について

本年度も昨年度に続き、「学校へ行こう週間」にあわせて、入学相談部が行う研修会と協力して標題の見学研修会を実施しました。

11月4日（火）に中学部1・2年の保護者対象に高等部の作業学習（農業（ビデオ）、紙工、染め、織り、陶芸、木工）の見学研修会、続いて11月5日（水）に小学部6年生の保護者を対象に中学部の作業（園芸、陶芸、クラフト、クッキング、手工）の見学研修会が行われ、保護者の方々が熱心にそれぞれの授業を見学されていました。

感想の中には「2年後にこの中に入って落ち着いて同じようにできるのか」といった不安や「中学部とは違って作業学習が一日という長い時間となるので今現在の我が子のことを考えると大丈夫だろうか」など、そして「卒業後のことを考えるよい機会となった」という感想などもいただきました。保護者の方々の不安が解消されていくよう、いただいた意見や感想を参考にさせていただき、今後とも進路指導の充実に向けて取り組んでいきたいと思っております。（中学部）

## 高等部 1年 2学期の取り組み

10月の進路学習では、高2が9月から行っている実習の様子から「仕事」について学習しました。先輩の実習の様子とインタビューのビデオを全員で見た後、「仕事見本市」でポリッシャーを使っの清掃、お菓子の袋詰め、おしぼり巻き機械を使っのおしぼり巻きなどを見学したり、体験したりしました。実際に職場で使っている機械や道具を使用したり、見たりすることで興味をもって参加できた生徒が多かったと思います。

11月の職場見学では、南授産所、きつつき作業所、もみじ作業所、おりづる作業所、森の工房、愛バック、心障センター、山陽タオルの8カ所に行き、雰囲気を感じたり体験したりしました。いよいよ1月には校内実習があります。1週間実習グループの仲間と仕事や活動をします。これらの取り組みを通して、自分に合った仕事や生活スタイルについて考えていけたら良いと思います。

(高等部 1年生)

## 高等部 2年の取り組み

### 職場体験実習～保護者職場見学～進路学習～生徒職場見学～個別進路懇談へ

高等部 2年生の進路の取り組みは次から次へと盛りだくさんです。2年生の3学期末に行う個別の進路懇談で卒業後の大まかな進路先を絞り込み、3年生での具体的な進路決定へ向けての実習へ備えるためです。「社会へチャレンジ!!」のテーマで行われた職場体験実習が11月中旬で終了しました。生徒はそれぞれ事業所、施設、作業所、デイサービス等で初めての实習を行い、卒業後の進路や社会生活について実際の体験を通して考え、そこから得た貴重な成果と課題を振り返り、今後の学校生活での課題を設定して取り組みを始めています。12月には「卒業生から学ぶ」「卒業生との交流」を題材に進路学習を行いました。社会人一年目の先輩を招いて学校と卒業後の生活の違いを中心に話を聞いたり仕事を体験したりするグループと卒業生のサークル活動としてもみじ作業所の和太鼓実演を鑑賞した後共に演奏をして交流するグループに分かれて卒業後の生活について学習しました。1月には生徒の職場見学を予定しています。様々な視点、角度から自分の進路について見つめ、考える機会にして欲しいと願っています。

体験実習が終了して次の週から保護者職場見学が始まっています。職場体験実習を踏まえてその他の進路先となり得るところへ複数箇所保護者の方に見学をしてもらって最適な進路先を考える資料としてもらうためです。「お母さんが気に入るところではありませんよ。子どもにとっていいところを探してください。」訪問先で決まって言われるこの言葉がとても印象的です。施設の空き状況や送迎、費用、親の希望は進路選択の際に、もちろん切っても切り離せないもので大切な条件です。しかし最終的には生徒の進路で主役は生徒です。本人が卒業後に最も生き生きと生活できる進路先を本人と保護者と学校と、ケースによっては関係機関を交えてしっかり話をしながら3年生を迎えたいと考えています。

(高等部 2年生)

## 高等部3年 進路の取り組み

1学期には、自分の進路を決定するために多くの生徒が実習にチャレンジしました。実習後、自分の考えや家族の意見・担任の思いなどを大切にして一緒に考えました。自分に合った内容だと思っても受け入れの条件に合わず、進路変更を余儀なくされる生徒たち。複数のデイサービスセンターの申請をするために、複数の実習をすることになった生徒たち。

自分の進路を決めるため2学期になっても実習は続きます。9月から11月までに延べ22人の実習を行っています。卒業式の取り組みに入った今、12月には3人。年が明けた1月にも4名の実習実施が決まっています。

進路希望先が障害者自立支援法に基づく支給申請が必要なところであれば、実習をして、申請可能であると判断した後、12月1日から12日までの期間に申請します。受給決定となれば受給者証が交付されます。利用可能な空き定員よりも希望者が多い場合には抽選が行われ、待機順位の決定がされます。

小規模作業所・地域活動支援センターⅢ型を希望する生徒は、すでに応募が終わり運営委員会等の検討を経て受諾書が届いてきている状況です。

就職希望者は、ハローワークと連携をとりながら実習、募集、応募、内定という流れで採用決定に向けて取り組んでいます。

前述にありますように、3月9日（月）の卒業式に向けていろいろな取り組みが始まりました。これから3学期に向けて、卒業後の生活をしっかりイメージすることができる環境を整え、心の準備ができるようサポートしていきたいと思っています。（高等部3年生）

## 高等部保護者進路研修会についてのご案内

今年度も高等部保護者の方を対象に進路研修会を計画しております。保護者の皆様が是非聞いてみたいという内容を盛り込んでいきたいと考えています。限られた時間と講師による研修会になるかとは思いますが、複数の分科会を設定する予定にしております。

ご多用のこととは存じますが、是非研修会にご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 日時 平成21年1月15日（木） 10:00～11:30
2. 場所 後日お知らせいたします。
3. 内容 ①障害福祉サービスの活用と生活支援（制度を上手に使う）  
②一般就労に向けて（就職に向けて付けておきたい力・就労後の支援など）  
③学校の取り組み（進路指導の取り組みと進路先の状況など）